

# 水道局の財務状況 (平成19年度 決算)

水道事業は、皆様からお支払いいただいている水道料金を主な財源として、独立採算により事業を運営しています。

平成19年度の営業活動での収益的収支は95億9,900万円の利益を出しましたが、これは翌年度以降の建設投資等に充てられます。

また、安全で安定的なおいしい水づくりや、施設の耐震強化を図るためなどの建設・改良事業については、収入が支出に対し不足する額が364億5,200万円となりましたが、この不足額は減価償却費等の内部留保資金などで補てんしました。

なお、平成19年度末の企業債の残高は、前年度に比べ151億5,000万円減少したものの、依然として2,222億5,400万円の残高を有しており、これは、年間の水道料金収入約630億円の3.5倍となっています。

## 業務状況

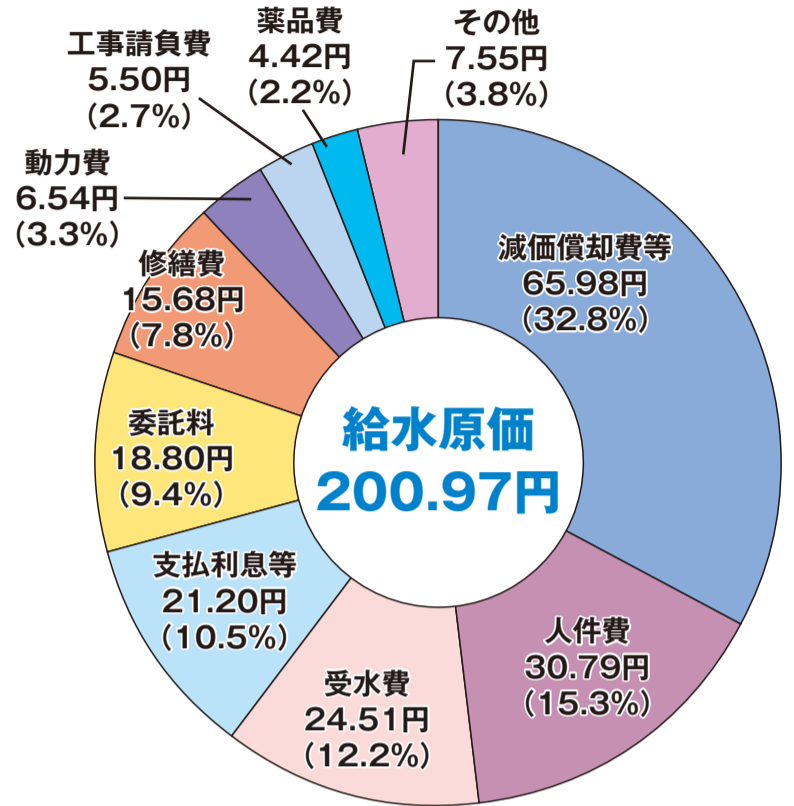
区 分	平成19年度(A)	平成18年度(B)	対前年度比較(A-B)
給水戸数 (千戸)	1,297	1,273	24
給水人口 (千人)	2,867	2,831	36
年間給水量 (千m <sup>3</sup> )	326,264	327,683	▲1,419
職員数 (人)	1,031	1,070	▲39

※業務状況は、平成19年度末現在の数値です。

◆問合せ先：財務課 TEL 043-211-8578

## 給水原価の構成

平成19年度に1m<sup>3</sup>の水道水をお客様にお届けするために要した費用の内訳



- 千葉県水道局は全国的に見ても規模が大きく、保有する資産額が大きいため、減価償却費の占める割合が高くなっています。
- 人件費は組織のスリム化などに努め年々減少傾向にあります。
- 水道事業では、施設の整備に多額の事業費が必要となりますので、その財源に充てた企業債の支払利息の割合も高くなります。

### 用語の説明

#### 【減価償却費】

固定資産を耐用年数に応じて期間計算した費用が減価償却費です。この費用は、配水管の整備や老朽管の布設替えなどの財源の一部として使用します。

## 中期経営計画の「評価制度」をご存知ですか？

### 千葉県水道局中期経営計画とは？

水道局では、お客様に安全で良質な水を安定的に供給するため、平成18年度から平成22年度までの5ヵ年を計画期間とする千葉県水道局中期経営計画を策定し、施策や事業の計画的な推進に努めています。

中期経営計画では、水道事業の使命を果たすため、次の4つの〈基本目標〉を掲げています。

- ①より良質なおいしい水をいつでも安心して利用できる水道
- ②現行料金を維持できる経営基盤の強化
- ③お客様に、より一層信頼される水道
- ④地震等の非常時にも強い水道

これらの目標を達成するため、14の施策と52の重点推進事業を計画の中で体系化し、主な施策・事業については指標を設け、数値目標を明確にしています。

### 計画の進行管理は？

水道局では、中期経営計画の進行管理を適切に行うため、重点推進事業の進捗状況や効果などをチェックして次の改善につなげる「評価制度」を導入し、計画初年度から実施しています。評価は、局内部による評価と、当該内部評価に対する「千葉県水道局中期経営計画事業等評価委員会（太田正委員長（作新学院大学教授）他委員4名）」による客観的な視点からの評価という2段階方式で実施しています。

平成19年度に実施した重点推進事業についての評価の詳細は、水道局ホームページでご覧いただけます。

### 平成19年度に実施した重点推進事業

平成19年度は、平成18年度に終了した1事業を除く51事業で、主なものの実施状況は次のとおりです。

#### 〈基本目標①〉

- 高度浄水処理機能をもつ「ちば野菊の里浄水場」が竣工し、10月から稼働・通水しました。
- おいしい水づくりを総合的に推進するため、残留塩素の低減化に向けた塩素多点注入方式導入の基礎調査や、高度浄水処理導入の調査研究を進めました。

#### 〈基本目標②〉

- 効率的な経営を推進するため、事務経費や工事コストの縮減に努めました。
- 民間委託業務の拡大を図るとともに、北総浄水場排水処理施設へのPFI導入の検討を進めました。

#### 〈基本目標③〉

- お客様の要望に応え、水道未普及地区への配水管布設工事を進めました。
- 検針会社による日曜日等の現地料金精算を8月から開始しました。

#### 〈基本目標④〉

- 地震等の災害時に備え、被害情報収集管理システムの整備を図りました。
- 管路の耐震強化を図るため、耐震継手を採用した配水管の整備・更新工事を進めました。

◆問合せ先：総務企画課 TEL 043-211-8363

## 「平成20年度 環境報告書(平成19年度決算版)」を作成します

水道事業は、浄・給水場の運転で多量の電気を使用するなど、環境と大きな関わりをもっています。千葉県水道局では、日頃から環境負荷の低減に積極的に取り組んでおり、お客様に当局の環境施策についてご理解いただくため、「環境報告書」を毎年発行しています。

### 閲覧・配布場所

- ホームページで：水道局ホームページにPDFファイルを掲載します。
  - 図書館で：給水区域内の主な公立図書館で閲覧できます。
  - お近くの県関係事務所で：各水道事務所・支所、県民センター（葛南、東葛飾、北総）、千葉県文書館で配布します。
- ※2月上旬公表予定です。（A4版、全30ページ）

### 主な内容

- 環境保全への取り組み状況を紹介します。
  - 環境会計を掲載します。
- ※環境会計とは、環境保全の取り組みにどれだけのコストをかけ、その結果、環境負荷をどれだけ削減できたかを、可能な限り定量的に算出するしくみです。
- 平成19年度の環境保全コストは、約18億8,300万円の見込みで、その結果、CO<sub>2</sub>排出量1,544トン削減、浄水場発生土の有効利用量31,223トン（発生量の100%）などの環境保全効果を見込んでいます。

◆問合せ先：総務企画課 TEL 043-211-8363

